

いのちの博物館の実現に向けて

・ ・ ・ 消えていいのか、日本の動物園・水族館 ・ ・ ・



主催 / (公社) 日本動物園水族館協会 (JAZA)、日本野生動物医学会
共催 / 京都大学野生動物研究センター、京都市動物園、京都水族館
後援 / 環境省近畿地方環境事務所、京都府、京都府教育委員会、京都市教育委員会
(公財) 日本博物館協会、(公社) 日本植物園協会、(公社) 日本獣医師会、
(社) 京都府獣医師会、(公社) 京都市獣医師会、文化資源学会、(公社) 日本獣医学会

動物園や水族館の最大の魅力は、生きた本物の動物に向き合い、体感できることです。しかし近年、動物園・水族館を取り巻く環境は厳しく、新たな未来像が求められています。このシンポジウムでは、動物園・水族館を「いのちの博物館」ととらえ、その果たすべき役割、課題などについて考えます。

2013年

日時 9月1日(日) 13:00 ~ 17:00
(開場 12:30)

会場 京都大学百周年時計台記念館

参加無料・事前申込不要

*参加ご希望の方は、裏面地図を参照のうえ京都大学百周年時計台記念館にお越しください。

<アクセス> 京都市バス:「京大正門前」または「百万遍」下車、徒歩5分

◆趣旨説明 13:00

消えていいのか、日本の動物園・水族館
山本茂行 (JAZA 会長、富山市ファミリーパーク 園長)

◆基調講演 13:10

- ① 人と知と命と学と、その穏やかな交差点を求めて
遠藤秀紀 (JAZA 広報戦略会議 委員、東京大学総合研究博物館 教授)
- ② 新世代の動植物園・水族館「フィールドミュージアム」
— 地域の自然を知り・守り・楽しむ —
幸島司郎 (京都大学野生動物研究センター 教授)
- ③ 鴨川流域の生物多様性保全活動について
竹門康弘 (京都大学防災研究所 准教授)

◆話題提供 14:25

- ① ゴリラの繁殖って難しいの!? 長尾充徳 (京都市動物園)
- ② ケープペンギンを増やそう! 大島由子 (京都水族館)

◆パネルディスカッション 15:10

テーマ 地球規模でのヒトと野生動物との調和ある共存
コーディネーター 木下直之 (JAZA 広報戦略会議 委員、東京大学文学部 教授)
パネリスト 伊谷原一・遠藤秀紀・幸島司郎・坪田敏男
小菅正夫・山本茂行・西田清徳



いのちの博物館の実現に向けて

.....消えていいのか、日本の動物園・水族館.....

日本の動物園と水族館は、地域・日本・地球の宝である生き物の命を守りつなげることに貢献してきました。そこは、生き物の姿、生きる力、命の大切さを伝える、いわば「いのちの博物館」だからです。

動物園と水族館の多くは、戦後間もない時期に、地方自治体によって設立されました。戦後復興とともに成長し、日本社会の中に根を下してきました。しかし、近年、動物園と水族館をとりまく環境は厳しく、これまでの経営方式や管理体制に見直しが求められています。財政難に直面する一方で、野生生物保全という一自治体の規模をはるかに越えたグローバルな役割を担いつつあるからです。こうした活動を担う人材の育成も急務の課題となっています。

動物園と水族館の最大の魅力は、映像ではなく、生きた本物の動物に向き合い、それを五感で体験できることです。しかし、その根幹ともいえる動物の収集・飼育・展示・繁殖が揺らいでいます。このままいくと、看板動物であるゾウやキリン、ゴリラなどが日本の動物園からいなくなってしまうかもしれません。「消えていいのか、日本の動物園・水族館」と問いかける理由です。

動物園と水族館の新たな未来像が求められています。今回のシンポジウムでは、動物園を見る視点を広げるために、海外と国内の野生動物の生息地において、自然環境を保全し、その活動を通じて種の保全をはかろうとする活動を続けておられる三人の方に講演をお願いしています。このような生息域内保全の取り組みを通して、動物園と水族館の越えるべき課題、果たすべき役割について考えます。

2013年9月1日(日) 13:00~17:00 (京都大学百周年時計台記念館)

- 13:00 開会・趣旨説明
消えていいのか、日本の動物園・水族館
山本茂行 (JAZA 会長、富山市ファミリーパーク 園長)
- 13:10 基調講演
① 人と知と命と学と、その穏やかな交差点を求めて
遠藤秀紀 (JAZA 広報戦略会議 委員、東京大学総合研究博物館 教授)
- 13:35 ② 新世代の動植物園・水族館「フィールドミュージアム」
—地域の自然を知り・守り・楽しむ—
幸島司郎 (京都大学野生動物研究センター 教授)
- 14:00 ③ 鴨川流域の生物多様性保全活動について
竹門康弘 (京都大学防災研究所 准教授)
- 14:25 話題提供
① ゴリラの繁殖って難しいの!? 長尾充徳 (京都市動物園)
- 14:40 ② ケープペンギンを増やそう! 大島由子 (京都水族館)
- 14:55 休憩

- 15:10 パネルディスカッション
「地球規模でのヒトと野生動物との調和ある共存」
〈コーディネーター〉 木下直之 (JAZA 広報戦略会議 委員、東京大学文学部 教授)
〈パネリスト〉 伊谷原一 (京都大学野生動物研究センター 教授)
遠藤秀紀 (JAZA 広報戦略会議 委員、東京大学総合研究博物館 教授)
幸島司郎 (京都大学野生動物研究センター 教授)
坪田敏男 (日本野生動物医学会 会長、北海道大学大学院 教授)
小菅正夫 (JAZA 広報戦略会議 委員、元旭川市旭山動物園 園長)
山本茂行 (JAZA 会長、富山市ファミリーパーク 園長)
西田清徳 (JAZA 広報戦略会議 委員、大阪・海遊館 館長)
- 16:55 閉会式
伊谷原一 (第19回日本野生動物医学会 京都大会 大会長)



京都大学へは、京都市バスの数多くの路線で来ることができます。
「京大正門前」または「百万遍」で下車して、徒歩5分です。

このシンポジウムは、日本野生動物医学会・京都大会のプログラムのひとつである市民公開講座として開催します。
詳しくは、HP: <http://www.wrc.kyoto-u.ac.jp/jszwm2013/> をご覧ください。

市民公開講座へは無料で参加いただけます。

事前登録は必要ありません。

ご来場は地下鉄・バス等の公共交通機関をご利用ください。

(京都大学には一般車の駐車スペースはありません)

●お問い合わせは

第19回日本野生動物医学会 京都大会 事務局
〒606-8333 京都市左京区岡崎法勝寺町 京都市動物園内
TEL: 075-771-0210 / FAX: 075-752-1974